

観察した鳥類チェックリスト

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ バン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ コブハクチョウ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ オカヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ マガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ カルガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ ハシビロガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ オナガガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ コガモ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ ホシハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ キンクロハジロ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| □ ミコアイサ | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ★カイツブリ目 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| ・カイツブリ科 | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ カンムリカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | |
| □ ミミカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| □ ハジロカイツブリ | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ★ハト目 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| ・ハト科 | □ トビ | □ エナガ | □ |
| □ キジバト | □ チュウヒ | ・メジロ科 | □ |
| ★カツオドリ目 | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| □ カワウ | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | □ バリケン |
| ★ペリカン目 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | □ ガチョウ |
| ・サギ科 | □ ノスリ | ・セッカ科 | □ アヒル |
| □ ヨシゴイ | ★ブッポウソウ目 | □ セッカ | □ ドバト |
| □ ゴイサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | |
| □ アマサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ アオサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ ダイサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ チュウサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |
| □ コサギ | | | |

鳥の博物館手賀沼定例自然観察会

8月のテーマ

外来種って、どんな生きもの？

案内人：岩本 二郎（鳥博）



てがたんコースでみられる主な外来種



コブハクチョウ

ヨーロッパ原産



カダヤシ(メス)

北アメリカ原産



ウシガエルのオタマジャクシ

北アメリカ原産



アカボシゴマダラ

中国・朝鮮半島原産



ナガエツルノゲイトウ

南アメリカ原産



オオバナ
ミズキンバイ

南アメリカ原産

手賀沼周辺ではこの他に、オオクチバス、ブルーギル、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメなども生息します(次頁参照)。

「外来種」とは？

“外来種”は、「人の活動によって本来の分布域の外の国や地域に導入(移動)された生物種」です。それに対し、本来の分布域にいる生物は“在来種”といいます。日本の生物であっても、国内の分布していない地域に導入されれば、“外来種”となり、このような外来種を「国内由来の外来種」と呼びます。

てがたんは毎月第2土曜日午前10時から *連絡先 我孫子市鳥の博物館 電話04-7185-2212

2019年8月10日(土)

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

外来種によって、どのような問題がおこりますか？

生態系への影響



オオバンから威嚇される
ミシシippアカミミガメ

他の生きものを食べたり、エサや生息地を奪ったり、雑種を作ったりすることにより、在来種(元々いた生きもの)を減少させてしまう恐れがあります。

ペットとして人気



北アメリカ原産

観賞用として観光客に人気



ヨーロッパ原産

どうすれば、外来種から日本の生態系を守れますか？

解決法Ⅰ. どれが危ないかを知らせる

① 世界の侵略的外来生物世界ワースト100

国際自然保護連盟(IUCN)の保全委員会が定めました。ウシガエル、オオクチバス、ノネコ、イエシロアリなど。



② 日本の侵略的外来生物世界ワースト100

日本生態学会が決めました。これまで紹介したもの以外に、ドバト、タイリクバラタナゴ、チャバネゴキブリ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポなども記載。



解決法Ⅱ. 禁止する

外来生物法 - 外来生物から守るための法律

A. 特定外来生物

もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系等に被害を及ぼすものについて、特定外来生物として政府が指定し、輸入等が原則として禁止されます。

- 例：許可なく飼養をした場合(愛がん(ペット)等の目的)
- 個人は、1年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金
 - 法人は、5千万円以下の罰金

B. 未判定外来生物

特定外来生物と近縁の生物で、生態系などに被害を及ぼすかどうか未判定である生物として環境省が指定したものをいいます。

※ 「生態系被害防止外来種リスト」掲載種

法律の規制が課されるものではありませんが、生態系に悪影響を及ぼしうることから、要意注な外来生物として、環境省のリストに掲載されたものをいいます。

手賀沼周辺の主な 特定外来生物
オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ、ウシガエル、アカボシゴマダラ、ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ

・特定外来生物を知らずに捕まえてしまった場合、まずは役所の環境担当部署まで電話でご相談を

農林水産業への被害



イネを食べる
コブハクチョウ幼鳥

人が育てている作物に被害を与えるものがあります。

人命への危険



セアカゴケグモ
※ 手賀沼周辺では確認されていません

毒を持つ危険な生物もいます。

なぜ、もちこまれたのでしょうか？

次の生きものは、はじめは人間の役に立つと考えられていました。しかし、後になって、問題のあることがわかってきました。

釣ると楽しい



オオクチバス
北アメリカ原産

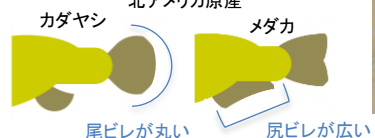


ブルーギル
手賀沼水生生物研究会
北アメリカ原産

有害な生きものを食べる



カダヤシ(オス)
北アメリカ原産



カダヤシ メダカ
尾ビレが丸い 尻ビレが広い

食糧



ウシガエル
手賀沼水生生物研究会
北アメリカ原産



アメリカザリガニ
北アメリカ原産